鳥羽商船高等専門学校	開講年度	平成27年度 (2015年度)	授業科目	English Communication 1

科目基礎情報

科目番号	0078	科目区分	一般 / 必修
授業形態	演習	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	電子機械工学科	対象学年	1
開設期	前期	週時間数	前期:4
教科書/教材	COMET English Communication Ⅰ （数研出版）		
担当教員	鏡 ますみ		

到達目標

Reading　簡単な英語で書かれた比較的短い文章を直読直解できる。
Listening　英語での指示や質問の内容を理解できる。
Speaking　基本的な構文を理解し、それを用いて簡単な英文を書ける。
Writing　決まったフレーズを用いて、自己紹介や簡単な会話ができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	簡単な英語で書かれた比較的短い文章を正確に直読直解できる。	簡単な英語で書かれた比較的短い文章をほぼ直読直解できる。	簡単な英語で書かれた比較的短い文章であるに係らず、直読・直解できない。
評価項目2	英語での指示や質問の内容を正しく理解できる。	英語での指示や質問の内容をほぼ理解できる。	英語での指示や質問の内容を全く理解できない。
評価項目3	基本的な構文を十分に理解し、それを用いて簡単で文法的に正しい英文を書ける。	基本的な構文を理解し、それを用いて簡単な英文を書ける。	基本的な構文を理解できず、それを用いた簡単な英文さへ書けない。
評価項目4	決まったフレーズを用いて、自己紹介や簡単な会話がスムーズにできる。	決まったフレーズを用いて、自己紹介や簡単な会話ができる。	決まったフレーズを用いて、自己紹介や簡単な会話ができない。

学科の到達目標項目との関係

教育目標 （A1）豊かな教養 教育目標 （C3）国際コミュニケーション能力

教育方法等

概要	以下を評価基準とする。 コミュニケーションへの関心・意欲・態度 ①英語を読んだり聞いたりして、自分の考えや感想を発言しようとしたり、聴こうとしている。 ②本文を読んで感想を発表したり、しっかり聴こうとしている。 外国語表現の能力 ③発音と文のリズムに注意して英文を淀みなく読むことができる。 ④本文の内容を簡潔にまとめたり、それについての自分の意見を簡単に話したり、書いたりできる。 ⑤各課で扱われる文法や表現を用いて簡単な文章を作ったり、やり取りができる。 外国語理解の能力 ⑥本文中の代名詞が指す内容について理解できる。 ⑦本文の内容について理解できる。 ⑧始めて聞く英文のポイントを聞き取ることができる。 言語や文化についての知識・理解 ⑨各課で扱われる文法事項の用法を理解している。 ⑩日常生活で有用な表現等に知っている。 ⑪英語を通して各国の文化とその背景を理解している。
授業の進め方・方法	授業は講義と実技が中心となる。 1　各レッスンの扉の写真を見ながら、本文の内容について簡単なやり取りをする。 2　新出単語や連語についての発音と意味を確認する。 3　本文の音声を聞き、音読練習を様々な音読練習を行なう。 4　本文の内容を理解し、設問に日本語で答える。 5　本文理解の助けとなる文法事項や代名詞を確認しながら、要点を確認する。 6　課末の表現や格言を利用して、表現活動を行なう。
注意点	English Communication 1は半期２単位授業である。 副教材はＣOMET English Communication Ⅰ Workbook （数研出版）、英単語Target1200（旺文社）、英単語Target1200 Workbook 1,2,3 （旺文社）、『グランドセンチュリー英和辞典』（三省堂）である。 第一回目のＥＣ１の時間に入学前の課題テキストを提出する。 提出物は締切日厳守のこと。 予習と復習を毎回行うこと。 中学校の英語を理解していないものは補習などを行う。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	オリエンテーション	英語授業の年間計画を理解できる。 入学前課題の確認試験で６０%以上正解することができる。
		2週	オリエンテーション Introduction	辞書の使い方、ノートのとり方、学習の方法などの説明が理解できる アルファベット、授業で使う表現、和製英語について理解できる。 文法用語等の説明を聞き、理解できる
		3週	Lesson 1 Why Do We Study English?	英語に対する関心や英語を学習する意欲を喚起する話題について読む 主語・動詞，否定文・疑問文を理解できる。 *人を誘う表現　Let's ～を利用した英文を作ることができる。
		4週	Lesson 2 Bento	日本の文化に対する海外からの評価に関する文を読み、内容を理解することができる。
		5週	Lesson 2 Bento	現在形・過去形を理解できる。 *人に指示を与える表現　Look at ～を利用した英文を作ることができる。

		6週	Lesson 3 Could You Give Me Some Advice？	「悩み相談」に関する文を読み、内容を理解することができる。
		7週	Lesson 3 Could You Give Me Some Advice？	助動詞 can, may, must *人に何かを頼む表現　Could you ～?
		8週	中間試験	
	2ndQ	9週	中間試験の返却と解答 Activity 1 Speak Aloud 1	クラスＴシャツの文面をつくる。 英語らしく話す練習をする。
		10週	Lesson 4 My School, Your School	自国と他国の文化の共通点・相違点に関する文を読み、内容を理解することができる。
		11週	Lesson 4 My School, Your School	不定詞（名詞用法・形容詞用法・副詞用法[目的]）を理解できる。 *相手の意見を求める表現　How about ?を利用した英文を作ることができる。
		12週	Lesson 5 Peace, the Polar Bear	動物の哺育に関する文を読み、内容を理解することができる。
		13週	Lesson 5 Peace, the Polar Bear	動名詞（主語・補語・目的語として）を理解できる。 *望みや気持ちを表す表現　feel like ～ingを利用した英文を作ることができる。
		14週	Activity 2 Reading 1	自分でクロスワードパズルを作る。 英語のなぞなぞに親しむ。
		15週	期末試験	
		16週	期末試験の返却と解答	期末試験解説

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	2	
				英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。	1	
				英語の発音記号を見て、発音できる。	1	
				リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。	1	
				語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。	1	
				文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。	1	
				文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。	1	
				中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。	1	
				中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	2	

評価割合

	試験	態度	ポートフォリオ	合計
総合評価割合	60	10	30	100
基礎的能力	60	10	30	100
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0